

# 第5回 日本小児内分泌学会九州・沖縄地方会

## プログラム



Photograph courtesy of the Main Library, Kyoto University - Amabie

【日時】 2022年2月11日（金・祝） 10:30 開始

【会場】 Zoom による Web 配信

【事務局】

熊本大学大学院生命科学研究部小児科学講座

Tel:096-373-5191（当日連絡先）

当番世話人：熊本大学大学院生命科学研究部小児科学講座  
中村公俊

## 【開催概要】

- ・日時：2022年2月11日（金・祝）10:30 開始
- ・会場：ZoomによるWeb配信
- ・参加費：3000円（学生・初期研修医は無料）
- ・参加資格：事前参加登録した日本小児内分泌学会の九州・沖縄地区の会員および世話人の指導のもとにある入会予定・希望者

## 【プログラム】

### 1) 一般演題

- カテゴリーA： 一般演題：症例報告（診断確定例）、研究報告  
15分（発表10分、質疑応答5分）
- カテゴリーB： 難渋症例：未診断例・治療に難渋している症例  
20分（発表10分、指定発言5分、質疑応答5分）

### 2) 教育講演

1. 「私たちは今どこにいるの？どこに向かうの？—小児期発症原発性副腎機能低下症から日本小児内分泌学会まで—」  
慶應義塾大学医学部小児科学教室 長谷川 奉延先生
2. 「小児の脂質異常症 診療の基本と最近の知見」  
産業医科大学医学部医学教育担当教員 山本 幸代先生

### 3) ランチョンセミナー

- 「SGAにおけるインスリン抵抗性と耐糖能障害」  
日本大学病院小児科 浦上 達彦先生

## 【参加者へのご案内】

- 1) 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医 更新単位：2単位取得可能  
→参加単位および参加証明書：会期中のどこかで申請用メールアドレスを呈示しますので、申し込みをしてください。後日、メールにて送付します。
- 2) 事前参加登録者へは、近くになりましたら参加方法のご案内をメールします。
- 3) Zoomへの入室方法  
時間になりましたら、以下のいずれかの方法でZoomへ入室してください。  
\*メール内ミーティング URLから入室する  
Zoomアプリをお持ちの方はアプリからお入り下さい。  
ウェブブラウザからも参加できます。  
\*ミーティング ID およびパスワードで入室する  
・Zoomアプリの「ホーム」で「参加」をクリックし、メールに添付されたミーティング ID、パスワード（パスワード）を入力して入室。  
・ウェブブラウザで <https://zoom.us/jp-jp/meetings.html> にアクセスし、右上の「ミーティングに参加する」をクリック。画面でミーティング IDを入力し、「参加」をクリック。画面下「ブラウザから参加してください」をクリック。ミーティングパスワードを入力して入室。
- 4) ご参加にあたってのお願い  
・**表示名を「施設名+氏名」に変更してください。**

参加者を把握し、ディスカッションしやすくするためです。

開催中にも表示名は変更可能ですので、表示名がフルネームでない場合は、下記の手順に従って変更をお願いします。

### パソコン (Windows・Mac) の場合

- ① 画面下の「参加者」をクリックすると参加者の一覧が出てきます。
- ② 1番上にある自分の表示名にカーソルを合わせると「詳細」と表示されます。
- ③ 「詳細」をクリックすると「名前の変更」と表示されますので、それをクリックすると表示名を変更することができます。



### スマートフォンやタブレット (Android・iPhone・iPad など) の場合

- ① 画面下の「参加者」をタップすると参加者の一覧が出てきます。
- ② 1番上にある自分の表示名をタップすると「名前の変更」が表示されます。
- ③ 「名前の変更」をタップすると表示名を変更することができます。



- ・Zoom 画面左下で、**ビデオ OFF・音声ミュート**にしてご参加ください。  
接続状況を安定させるため、ご協力のほどお願いいたします。
- ・ご質問される際は、Zoom の「手を挙げる (挙手)」をクリックしてください。  
「手を挙げる」は、「詳細」(タブレット)、「参加者」「リアクション」(PC) をクリックすると、ボタンが現れます。  
指名されましたら、ビデオ ON・音声ミュート解除してご発言ください。
- ・セキュリティ上、公共の場で閲覧しない、および録音・録画・画面の撮影禁止を遵守してください。  
また、URL の複製・転用・転送ならびに他人への譲渡も禁止です。

### **【発表者へのご案内】**

- ・発表は 10 分、質疑応答は 5 分です。発表時間は厳守して下さい。
- ・利益相反の開示：共同演者を含む演者全員について、発表する研究内容に関連する利益相反の申告（演題登録日を起点とする過去3年度分）が必要です。筆頭演者、すべての共同演者の利益相反をスライドの2枚目（タイトルスライドの後）に開示をしてください。利益相反自己申告の基準については、第54回日本小児内分泌学会学術集会のHPをご参照ください  
(<http://jspe2021.umin.jp/inform.html>)。
- ・個人を識別できる情報（氏名、生年月日、個人識別符号など）は発表から取り除いてください。顔写真についても個人が特定できないようご配慮ください

## プログラム

### 10:30 開会の挨拶

---

当番世話人：中村 公俊 (熊本大学大学院生命科学研究部小児科学講座)

### 10:40～12:10 一般演題カテゴリーA (発表10分 質疑5分)

---

- A1. 顔貌情報を用いた診断補助アプリケーション Face2Gene の内分泌関連疾患における有用性  
本川未都里<sup>1)</sup>、二里茉莉<sup>1)</sup>、浦川立貴<sup>1)</sup>、渡辺聡<sup>2)</sup>、中富明子<sup>1)3)</sup>、里龍晴<sup>1)</sup>、三嶋博之<sup>4)</sup>、松本正<sup>5)</sup>、近藤達郎<sup>5)</sup>、伊達木澄人<sup>1)</sup>  
1) 長崎大学病院 小児科、2) わたなべ小児科、3) 諫早療育センター、4) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科人類遺伝学、5) みさかえの園総合医療発達福祉センターむつみの家
- A2. 発症時期の異なった DAX1 異常症の一家系例  
関 祐子<sup>1)</sup> 三浦希和子<sup>1)</sup> 森田 智<sup>1)</sup> 溝田美智代<sup>1)</sup> 玉田 泉<sup>2)</sup> 奥 章三<sup>3)</sup>  
天野直子<sup>4)</sup> 内田 登<sup>4)</sup> 長谷川奉延<sup>4)</sup>  
1) 鹿児島大学病院小児科、2) いまきいれ総合病院小児科、3) 鹿児島こども病院、4) 慶應義塾大学小児科
- A3. 母体TRAb <5 IU/Lで新生児バセドウ病を発症した1例  
藤山 菜摘、永松 扶紗、中村 公俊  
熊本大学病院 小児科
- A4. 学校検尿で発見されたdouble diabetesの10歳女児例  
多久葵<sup>1)</sup>、河田泰定<sup>1)</sup>、齋藤玲子<sup>2)</sup>、山本幸代<sup>2, 3)</sup>  
1) 九州労災病院 小児科、2) 産業医科大学医学部 小児科、3) 産業医科大学医学部医学教育担当教員
- A5. L-アスパラギナーゼによる急性膵炎のため永続性の糖尿病に至った急性リンパ性白血病の14歳男児  
小宅 桃子、松田 史佳、平野 直樹、糸永 知代、前田 美和子、末延 聡一、井原 健二  
大分大学医学部 小児科
- A6. COVID-19流行後の学校健診で受診した肥満小児の治療効果  
桑村真美<sup>1)</sup>、山本幸代<sup>1)</sup>、<sup>2)</sup>、島本 太郎<sup>1)</sup>、池上 朋未<sup>1)</sup>、多久 葵<sup>4)</sup>、齋藤玲子<sup>1)</sup>、川越倫子<sup>3)</sup>、河田泰定<sup>4)</sup>、楠原浩一<sup>1)</sup>  
1) 産業医科大学 小児科、2) 産業医科大学 医学教育担当教員、3) 戸畑総合病院小児科、4) 九州労災病院 小児科

12:10～12:30 休憩

---

## 12:30～13:20 ランチョンセミナー（共催：JCRファーマ株式会社）

---

座長：間部 裕代 間部病院

### 「SGAにおけるインスリン抵抗性と耐糖能障害」

浦上 達彦先生 日本大学病院小児科

13:20～13:30 休憩

---

## 13:30～14:00 教育講演①

---

座長：井原 健二 大分大学医学部小児科

### 「小児の脂質異常症 診療の基本と最近の知見」

山本 幸代先生 産業医科大学医学部医学教育担当教員

## 14:00～15:20 一般演題カテゴリーB（発表10分 指定発言5分 質疑5分）

---

- B1. 蛋白漏出性胃腸症を合併したバセドウ病  
小松 なぎさ  
熊本中央病院 小児科  
【指定発言】喜多村 美幸（久留米大学小児科）
- B2. GHD の診断のもと 8 年間 GH 治療を行うも成長率の改善を認めない 12 歳男児  
浦島 真由美、在津 正文  
NHO 嬉野医療センター小児科  
【指定発言】佐々木 聡子（福岡大学小児科）
- B3. 高濃度の GH を要する Septo-Optic dysplasia  
山本 晶子  
熊本中央病院 小児科  
【指定発言】牧村 美佳（福岡市立こども病院内分泌・代謝科）
- B4. 生後 9 か月時に胃腸炎関連痙攣を契機に診断された原発性アルドステロン症女児例  
牟田龍史、石井加奈子、戸田尚子、トカン・ヴラッド、虫本雄一  
九州大学小児科  
【指定発言】兼次 拓也（琉球大学小児科）

**15:20～15:50 一般演題カテゴリーA (発表10分 質疑5分)**

---

**A7. ビスホスホネート製剤単回投与でコントロール良好となった Local Osteolytic Hypercalcemia の 18 trisomy 女児例**

島本太郎<sup>1</sup>、山本幸代<sup>1,2</sup>、清水大輔<sup>1</sup>、加藤稚子<sup>3</sup>、石井雅弘<sup>1</sup>、荒木俊介<sup>1</sup>、本田裕子<sup>1</sup>、楠原浩一<sup>1</sup>

1) 産業医科大学医学部小児科、2) 産業医科大学医学部医学教育担当教員、3) 九州大学医学部 小児科

**A8. 1歳で診断した家族性男性思春期早発症 (Testotoxicosis) の1例**

宇藤山 麻衣子

国立病院機構宮崎東病院小児科

15:50～16:10 休憩

---

**16:10～17:00 教育講演②**

---

座長：中村 公俊 熊本大学大学院生命科学研究部小児科学講座

「私たちは今どこにいるの？どこに向かうの？ —小児期発症原発性副腎機能低下症から日本小児内分泌学会まで—」

長谷川 奉延先生

慶應義塾大学医学部小児科学教室

**17:00 閉会の挨拶**

---

次担当番世話人：虫本 雄一 九州大学小児科